

対象学年	小6	教科	国語	難易度	★☆☆☆
単元	詩を読む				
課題	次の詩を音読してみよう。				
	<p style="text-align: center;"> <small>春の河</small><small>(かわ)</small> <small>山村暮</small><small>(ぼ)</small><small>鳥</small><small>(ちょう)</small> <small>(たっぷり)</small> <small>たっぷりと</small> <small>春は</small> <small>小さな川々</small><small>(かわがわ)</small><small>まで</small> <small>(い)</small> <small>あふれてゐる</small> <small>(い)</small> <small>あふれてゐる</small> </p>				
課題の説明	「春の河」を繰り返し音読（声に出して読むこと）してみよう。繰り返し音読することで、「う～む、これはどういうことだ。」と思えたら最高です。				
参考資料	国語六（光村図書P14） 新しい国語六（東京書籍P94）				

対象学年	小6	教科	国語	難易度	★★☆☆
単元	詩を読む				
課題	次の詩の気になることをノートに書いていこう。				
	<p style="text-align: center;"> <small>春の河</small><small>(かわ)</small> <small>山村暮</small><small>(ぼ)</small><small>鳥</small><small>(ちょう)</small> <small>(たっぷり)</small> <small>たっぷりと</small> <small>春は</small> <small>小さな川々</small><small>(かわがわ)</small><small>まで</small> <small>(い)</small> <small>あふれてゐる</small> <small>(い)</small> <small>あふれてゐる</small> </p>				
課題の説明	読んでみて、どういうことなのか分からない、なぜなんだろうと思ったことをノートに書いてみよう。 「山村暮鳥」は作者名です。				
参考資料	国語六（光村図書P14） 新しい国語六（東京書籍P94）				

対象学年	小6	教科	国語	難易度	★★☆☆
単元	詩を読む				
課題	次の詩のタイトル「春の河」とはどのような景色でしようか。絵に描いてみよう。				
	<p style="text-align: center;"> <small>春の河</small><small>(かわ)</small> <small>山村暮</small><small>(ぼ)</small><small>鳥</small><small>(ちやう)</small> <small>(たっぶり)</small> <small>たつぷりと</small> <small>春は</small> <small>小さな川々</small><small>(かわがわ)</small><small>まで</small> <small>(い)</small> <small>あふれてゐる</small> <small>(い)</small> <small>あふれてゐる</small> </p>				
課題の説明	「春の河」の「春」とはどのような景色か、「河」とはどのような河なのかを考えながら、絵にしてみよう。				
ヒント	「河」と「川」はどう違うのか考えてみよう。				
参考資料	国語六（光村図書P14） 新しい国語六（東京書籍P94）				

対象学年	小6	教科	国語	難易度	★★★☆☆
単元	詩を読む				
課題	次の詩の「あふれてゐる」と繰り返されているのはなぜか考えてみよう。				
	<p style="text-align: center;"> <small>春の河</small><small>(かわ)</small> <small>山村暮</small><small>(ぼ)</small><small>鳥</small><small>(ちやう)</small> <small>(たっぶり)</small> <small>たつぷりと</small> <small>春は</small> <small>小さな川々</small><small>(かわがわ)</small><small>まで</small> <small>(い)</small> <small>あふれてゐる</small> <small>(い)</small> <small>あふれてゐる</small> <small>あふれてゐる</small> </p>				
課題の説明	作者「山村暮鳥」がなぜ「あふれてゐる」を繰り返したのか、どのような考えがあったのかを考えよう。				
ヒント	「春」「河」「川」という言葉を参考に考えてみよう。				
参考資料	国語六（光村図書P14） 新しい国語六（東京書籍P94）				

対象学年	小6	教科	国語	難易度	★★★★
単元	詩を読む				
課題	皆さんが、最近よく聴いている音楽の歌詞を読んでみて、「繰り返し」のある歌詞を探してください。その見つけた「繰り返し」にはどのような意味があるのか考えてみよう。				
課題の説明	皆さんがよく聴いている音楽の歌詞の中にも、「繰り返し」が使われています。「※」マークで記述が省略されている場合もあります。 その、「繰り返し」にはどのような意味があるのかを考えてみてください。				
ヒント	作詞者はなんとなくではなく、なにかねらいをもって「繰り返し」を使っています。そのねらいを考えられるとより、深く読み取れることがあると思います。				

対象学年	小6	教科	国語	難易度	★★★★
単元	詩を読む				
課題	「繰り返し」を使って、詩を作ってみよう。				
課題の説明	詩では、「繰り返し」という表現の技法（よりよくする方法）がしばしば使われます。「繰り返し」の表現を使って詩を作ってみよう。				
ヒント	「春の河」を読んで、「繰り返し」の効果を確認して自分の作る詩の参考にしよう。				